令和元年度　山形大学教員研修会

第２１回 基盤教育ワークショップ 要項

趣　旨：学士課程教育におけるＦＤが義務化された現在、大学教育の質の向上が以前にも増して求められています。本ワークショップは、大学教育の発展を目的とし、相互研鑽の理念の下、本学の教職員および「ＦＤネットワーク”つばさ”」を始めとした学外からの参加者と一緒に議論を深めていきます。

日　時：令和元年９月１３日（金）１０：００～１６：３０

場　所：山形大学小白川キャンパスＡ５（基盤教育３号館）

時間	プログラム
9:00	受付開始
10:00	開会 司会・挨拶　山形大学教育開発連携支援センター長／教授　小田隆治
10:15 （90分）	**【第１部】基調講演**（基盤教育3号館312教室） 講　師：　**北見工業大学　オホーツク農林水産工学連携研究推進センター副センター長（農業連携）教授　星野 洋平　氏** 演　題：**「農業における人手不足と求められる自動化・ロボット化 —北海道の大規模農業とロボット・ＡＩ技術の研究・教育—」** ＜講演内容＞ 北見工業大学が所在する北海道北見市とその周辺はオホーツク地域とよばれ、雄大な自然に囲まれ、穏やかな天候で知られています。また、この地域は、帯広市周辺の十勝地方と並び、国内有数の農業・林業・水産業の生産高を誇る地域です。しかし、高齢化や地域の人口減少に伴って一次産業に関わる労働力の高齢化と不足が深刻な問題となりつつあります。このような問題に対し、北見工業大学では平成30年7月にオホーツク農林水産工学連携研究推進センター(通称Caffe)を設置し、農業・林業・水産業における労働力不足に対抗するため、研究レベルにとどまらず実用化を最終目標とした一次産業へのロボット技術の導入やＡＩ技術の応用を目指した研究と教育に取り組んでいます。この講演では北見工業大学の取り組みをご紹介し、一次産業を支える工学技術を持った人材育成のための教育について皆さんとともに考えたいと思います。
11:45	質疑応答
12:00	休　憩
13:30 ～ 16:30 （180分）	**【第２部】ラウンドテーブル**（基盤教育3号館） **第１分科会「これからのデータサイエンス教育 ～何を学ぶ？何が求められる？～」** ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ ･･･ 山形大学地域教育文化学部 副学部長／教授　**中西 正樹** ﾊﾟﾈﾘｽﾄ ･･･ 北海道大学数理・データサイエンス教育研究センター副センター長／大学院理学研究院 教授 **大本 亨** 北海道大学 大学院理学研究院 准教授 **行木 孝夫** 北見工業大学 副学長／教授 **榮坂 俊雄** 東北大学大学院情報科学研究科 副研究科長／教授 **尾畑 伸明** 山形大学データサイエンス教育研究推進センター長／理学部 教授 **脇 克志**

＜分科会内容＞
昨今、文系理系を問わずデータサイエンスに長けた人材の育成が叫ばれています。では、具体的にどのようなスキルを持った人材をどのような方法で育成すればよいのでしょうか？この分野は近年急激に重要度を増したということもあり、その教育に関しては現在進行形で議論が進んでいるところです。本分科会では、政府の動向や各大学での取り組みの紹介を元に、これからのデータサイエンス教育の在り方について議論します。
本分科会は「第1部：文系を含む全学向けのデータサイエンス教育（低年次での教育）」及び「第2部：理系向けのデータサイエンス教育（高年次での教育）」の2部構成とし、それぞれのテーマについて、パネリストによる話題提供（各大学の取り組みの紹介、標準カリキュラム策定に向けた議論の紹介）および、一般参加者も含めたディスカッションを行います。

第２分科会「高大連携における大学の役割」

ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ ・・・ 山形大学理学部　教授 **栗山 恭直**
ﾊﾟﾈﾘｽﾄ ・・・ 山形大学企画部　教授 **浅野 茂**
東北芸術工科大学デザイン工学部 教授／高大接続推進部長 **柚木 泰彦**

＜分科会内容＞
高校では、学習指導要領の変更により「総合的な学習の時間」が「総合的な探求の時間」に代わりました。SSH等での理科研究には、大学が関わってきましたが、分野が理系だけでなく文系にも拡大されることになりました。SSHでの文系あるいは、一般の普通科の高校で、探求活動の指導が模索され、大学が関わる事例が以前より増えてきました。東北芸術工科大学が山形県内の高校で大学生とともに活動を行っている事例を紹介してもらいます。大学の高校との連携について考えます。また、山形大学では、初年次教育として学部混在型でスタートアップセミナーを3年前から始めました。大学での学びの基本を中心に演習形式でグループワーク活動を行います。今後、大学に探究活動を経験した学生が入学してくるにあたり、内容を変更する必要が予想されます。
フロアーの方と情報を共有し、今後の高大連携について討論したいと考えています。

第３分科会「地域学習・協働学習型授業の展望」

ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ ・・・ 山形大学学士課程基盤教育機構　講師 **阿部 宇洋**
ﾊﾟﾈﾘｽﾄ ・・・ 山形大学学士課程基盤教育機構　准教授 **橋爪 孝夫**
山形大学地域教育文化学部　准教授 **滝澤 匡**

＜分科会内容＞
山形大学では、地域をキャンパスとして学ぶ科目「山形から考える」が必修化され３年目を迎え定着しつつあります。
一方で、「地域を意識的に見つめ直し、その中で具体的な課題発見・解決を考える講義」という本来の意義の面から見ると質の保証が課題になる場合もあります。
この分科会では、発表者が開講している「地域学習・協働学習型」授業による教育効果を検証しながら授業事例を紹介していただき、参加者の方と情報を共有しながら「山形から考える」の展望を議論してみたいと思います。

参加お申し込みはこちらから↓→

https://em-q.kj.yamagata-u.ac.jp/index.php/425779?lang=ja

参加申込〆切：令和元年９月１日（日）

※後日申込確認メールをお送りします。３日以内（土日祝日、8/13-8/16を除く）にメールが届かない場合は、お手数ですが、０２３－６２８－４７２０までお問い合わせください。

主催：山形大学教育開発連携支援センター／山形大学データサイエンス教育研究推進センター
共催：北海道大学 数理・データサイエンス教育研究センター
北見工業大学
東北大学 大学院情報科学研究科